

第4次岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定のための アンケート調査ご協力をお願い

住民の皆さまには、日ごろより福祉の推進について、温かいご理解とご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

来年度、岬町では、だれもが地域の中で孤立することなく、生涯を通して安心して暮らすことができる福祉のまちづくりのさらなる推進に向けて、「第4次岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定を行います。

そこで、住民の皆さまが日ごろ生活する中で抱えているさまざまな問題や、地域福祉に関わる活動への参加状況などを把握し、計画づくりにあたっての貴重な資料とさせていただくため、アンケート調査をお願いすることといたしました。

調査の対象は、町内にお住まいの18歳以上の方の中から1,600人を無作為にお選びしています。この調査は無記名であり、ご記入いただいた内容は統計的に処理しますので、個人のプライバシーがもれることは決してございません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年12月

岬町
(社福) 岬町社会福祉協議会

★「福祉」「地域福祉」とは

「福祉」とは「幸福」のことで、年齢・性別・障がいの有無などに関わらず、お互いのことを学び、立場を認めあって、それぞれが支えあうことのできる地域社会をつくることです。

「地域福祉」とは、そうした地域社会の実現に向けて、私たち一人ひとりが地域の一員であることを認識し、地域とのつながりを大切にしながら、お互いができることを持ち寄ること、またそうしたことができるようにするための仕組みをつくることです。

《ご回答にあたってのお願い》

- 1 この調査票にお名前をご記入いただく必要はございません。
- 2 回答は、原則として封筒のあて名のご本人が令和4年12月1日現在の状況でご記入ください。ご本人がお答えになりにくい、あるいはできない場合には、代理の方がご本人の意思を尊重しながら回答くださいますよう、お願いいたします。
- 3 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。つける○の数は、質問ごとに(1つに○)、(○はいくつでも)と書いてありますので、それに従ってください。「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、()内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
なお、答えたくない質問に対しては無理にお答えいただかなくてもかまいません。
- 4 ご記入いただいた調査票は、令和4年12月23日(金)までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。(切手は不要です。)

<調査に関するお問い合わせ先>

岬町役場 しあわせ創造部 地域福祉課 地域福祉係 電話 072-492-2700(直通)
社会福祉法人 岬町社会福祉協議会 電話 072-492-0633

1 あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|--------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 回答しない |
|-------|-------|--------|----------|

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 | 4. 50～59歳 |
| 5. 60～64歳 | 6. 65～74歳 | 7. 75歳以上 | |

問3 あなたの世帯(家族)の構成をお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 本人がひとり | 2. 夫婦だけ |
| 3. 親と子の二世帯 | 4. 親と子と孫の三世帯 |
| 5. その他 () | |

問4 あなたの世帯(家族)の人数(あなた自身も含みます)を記入してください。

世帯(家族)の人数 _____人 うち 18歳未満の子どもが _____人

問5 現在一緒に住んでいるあなたの世帯(家族)構成の中に、次のような方(あなた自身も含みます)はいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 乳幼児(小学校入学前の子ども) | 2. 小・中学生 |
| 3. 高校生 | 4. 専門学校・大学生 |
| 5. 65歳以上の方 | 6. 介護を必要とする方 |
| 7. 障がいのある方 | 8. いずれもない |

問6 あなたの現在の職業は何ですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 農林漁業自営及びその家族従事者 | 2. 商工業自営及びその家族従事者 |
| 3. 専門職(医師・弁護士など) | 4. 民間企業・団体の勤め人 |
| 5. 公務員・教員 | 6. パート・アルバイト・フリーター |
| 7. 学生 | 8. 家事専業 |
| 9. 無職 | 10. その他 () |

2 地域での生活について

問7 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

1. 淡輪 2. 深日 3. 多奈川 4. 孝子 5. 望海坂

※地区がわからない場合は、地名等をご記入ください。()

問8 あなたは、岬町にお住まいになられて何年になりますか。(1つに○)

1. 5年未満 2. 5年～10年未満
3. 10年～20年未満 4. 20年～30年未満
5. 30年以上

問9 あなたは、今後も岬町に住み続けたいですか。(1つに○)

1. 住み続けたい 2. なるべく住み続けたい
3. できれば町外へ移りたい 4. ぜひ町外へ移りたい

【問9で「3. できれば町外へ移りたい」「4. ぜひ町外へ移りたい」に○をつけた方におたずねします。】

問9-1 住み続けたくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. (病院や診療所等の) 医療サービスが整っていないから
2. (福祉施設や) 福祉サービスが整っていないから
3. 子育てや教育の環境が整っていないから
4. 雇用の場が少ないから 5. 治安に不安があるから
6. 隣近所となじめないから 7. 買い物などが不便だから
8. 通勤・通学が不便だから 9. 生まれ育ったところではないから
10. その他 ()
11. 特に理由はない

問10 あなたにとって“身近な地域”とはどのような範囲ですか。(1つに○)

1. 隣近所 2. 自治区(会)単位 3. 小学校区単位 4. 岬町全体
5. その他 ()

問 11 あなたがお住まいの地域や周辺的环境について、どのように思いますか。①～⑯のそれぞれの項目について、番号を選んでください。(それぞれ1つに○)

	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらともいえない	あまりそうは思わない	まったく思わない	わからない
①住んでいる地域に愛着を感じている	1	2	3	4	5	6
②高齢者や障がいのある人、子ども、外国人などにとって住みやすいまちである	1	2	3	4	5	6
③福祉施設や福祉サービスが充実している	1	2	3	4	5	6
④病院や診療所などの医療施設が充実している	1	2	3	4	5	6
⑤公共施設の利用が便利である	1	2	3	4	5	6
⑥買い物などの日常生活が便利である	1	2	3	4	5	6
⑦地域活動やボランティア活動が活発である	1	2	3	4	5	6
⑧近所づきあいや助けあいなど近隣関係が良好である	1	2	3	4	5	6
⑨道路や公共交通機関(鉄道・バスなど)が充実している	1	2	3	4	5	6
⑩自習室などの学習施設が充実している	1	2	3	4	5	6
⑪グラウンドや体育館などのスポーツ施設が充実している	1	2	3	4	5	6
⑫子どもの遊び場や公園などが充実している	1	2	3	4	5	6
⑬高齢者が憩える施設や広場などが充実している	1	2	3	4	5	6
⑭静けさや緑が多いなど環境が良好である	1	2	3	4	5	6
⑮治安が良く安心して住めるまちである	1	2	3	4	5	6
⑯防災対策が充実して安心して住めるまちである	1	2	3	4	5	6

問 12 あなたは、地域とのつながりがあると思いますか。(1つに○)

1. とてもあると思う	2. あると思う	3. どちらともいえない
4. 思わない	5. 全くそう思わない	

問 13 あなたは、隣近所の人とどのようなおつきあいをしていますか。
(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. どんなことでも相談しあえる人がいる |
| 2. 困ったことなど内容によっては、相談し助けあえる人がいる |
| 3. 世間話をする程度の人がある |
| 4. あいさつをする程度の人はいらる |
| 5. ほとんど近所づきあいはない |
| 6. その他 () |

問 14 あなたが暮らしの中で、隣近所に手助けしてほしいことはありますか。また、あなたが隣近所に手助けできると考えられることは何ですか。それぞれ当てはまる番号を選んでください。(○はいくつでも)

手助けしてほしいこと	1. 日常的な買い物	2. 日常的な話相手
	3. 病院の薬の受け取りなどの用事	4. 食事づくりや洗濯、ゴミ出しなど
	5. 病気の時の看病や世話	6. 急な外出時などの子どもの世話
	7. 子育てや教育などに関する相談	8. 日常生活の悩みや不安の相談
	9. 高齢者や障がいのある人の介助	10. 地震などの災害時の安否確認
	11. その他 ()	12. 特になら

手助けできること	1. 日常的な買い物	2. 日常的な話相手
	3. 病院の薬の受け取りなどの用事	4. 食事づくりや洗濯、ゴミ出しなど
	5. 病気の時の看病や世話	6. 急な外出時などの子どもの世話
	7. 子育てや教育などに関する相談	8. 日常生活の悩みや不安の相談
	9. 高齢者や障がいのある人の介助	10. 地震などの災害時の安否確認
	11. その他 ()	12. 特になら

問 15 必要な支援を受けることができず、地域から孤立し、生活上の様々な課題を抱えている人が、お住まいの地域にらるかどうかが知っていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らない |
|------------|-------------|---------|

問 16 あなたが、地域で解決が必要と感じる問題は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 子どもの遊び場がないこと
2. 子どもの非行やいじめのこと
3. ゴミ処理や犬のふんの後始末、駐車などの住民のマナーのこと
4. 自治区(会)などの役員や担い手がないこと
5. ひとり暮らしや高齢夫婦、障がいのある人等への見守り・支援
6. ひとり親家庭への支援
7. 虐待やDV
8. 火災予防や災害時の避難・防災・減災活動
9. 空き家・空き地や耕作放棄地の増加等に伴う生活環境の悪化
10. 暮らしや福祉のことを相談できる人がいないこと
11. 身近な地域での買い物や病院への通院などができないこと
12. その他 ()
13. 特にない

問 17 地域の課題に対して地域の住民ができることは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. マナー改善に向けた呼びかけ
2. 青少年の健全育成の呼びかけ
3. 防災・防犯の呼びかけ
4. 地域活動への参加の呼びかけ
5. 子どもの居場所づくり
6. 高齢者の居場所づくり
7. 障がいのある人の居場所づくり
8. 乳幼児期の子育て支援
9. 健康づくりへの取り組み
10. 隣近所へ日常的な声かけ、見守り
11. 隣近所の相談相手
12. 募金や寄付、空き家等の提供
13. 買い物や通院時の移動の手助け
14. 地域の支えあいに関心を持つ
15. 地域の避難訓練等への参加
16. その他 ()
17. できることはない

問 18 あなたやあなたのご家族、ご近所の方に次のような状況に該当する方はいますか。(○はいくつでも)

	該当する方			は い な い 該 当 す る 方
	あ な た	家 族 あ な た の	方 ご 近 所 の	
①公的な取組やサービスでは支援できない困りごとを抱えている	1	2	3	4
②経済的に困窮している	1	2	3	4
③働きたいが就労できない	1	2	3	4
④働いても続かない	1	2	3	4
⑤認知症のため、介護や支援が必要	1	2	3	4
⑥預貯金の管理ができない	1	2	3	4
⑦親亡き後に残される障がいのある子どもがいる	1	2	3	4
⑧国籍や出身が外国で、日本の文化・慣習や言語に馴染めない	1	2	3	4
⑨家族以外との接触がなく、ひきこもっている	1	2	3	4
⑩自分の部屋にひきこもり、家族とも話をしない	1	2	3	4
⑪不要な物を処分できず、家の中が物であふれている	1	2	3	4
⑫家族やパートナーから暴力やDVを受けている ※暴力やDVは、殴るなどの身体的なもの他、怒鳴る・無視するなどの精神的、お金を渡さないなどの経済的なものも含む	1	2	3	4
⑬ダブルケアを行っている ※ダブルケアとは、子育てと家族の介護などを同時に担うこと	1	2	3	4
⑭老々介護を行っている ※老々介護とは、高齢者が高齢者を介護すること ※高齢者は65歳以上の方	1	2	3	4
⑮ヤングケアラーがいる ※ヤングケアラーとは、本来大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どものこと		2	3	4

3 新型コロナウイルス感染症について

問 19 新型コロナウイルス感染症の流行により、日常生活に変化がありましたか。
 (それぞれ1つに○) ※2020年1月から現在まで

	増加した	変化なし	減少した
①通院や買い物などの外出頻度	1	2	3
②趣味活動への参加頻度	1	2	3
③地域活動やボランティア活動への参加頻度	1	2	3
④家族や親族と過ごす時間	1	2	3
⑤近所の方や地域の方との交流機会	1	2	3
⑥遠方に住む知人・友人などとの交流機会	1	2	3
⑦精神的なストレス	1	2	3
⑧オンラインを活用した活動	1	2	3

問 20 新型コロナウイルス感染症の流行により、困っていること・不安なことはどんなことですか。(○はいくつでも) ※2020年1月から現在まで

1. コロナ関連の支援や相談先がわからない 2. 外出の機会が減って気分転換できない 3. 人との関わりが減って気がめいている 4. 家族や知人・友人との関係が変わった 5. 働き先がない、探せない 6. 収入が安定せず今後の生活が不安 7. 既存の子育てや介護などのサービスが受けられない 8. オンラインを活用した活動が増えたが、操作方法や利用方法がわからない 9. 特に困っていることはない 10. その他 ()

4 支えあいの活動について

問 21 あなたは、福祉に関心がありますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. まったく関心がない | 5. わからない | |

【問 21 で「1. とても関心がある」「2. ある程度関心がある」に○をつけた方におたずねします。】

問 21-1 関心がある福祉の分野は次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 子どもに関する福祉 | 2. 高齢者に関する福祉 |
| 3. 障がいのある人に関する福祉 | 4. 経済的困窮にある人に関する福祉 |
| 5. 1～4以外の人に関する福祉 | 6. その他 () |

問 22 あなたは地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種支援活動等に、取り組んでいますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 現在、継続的に取り組んでいる | 2. たまに取り組むことがある |
| 3. 取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない | |
| 4. 取り組んだことはない | 5. 取り組むことができない |

【問 22 で「1. 現在、継続的に取り組んでいる」「2. たまに取り組むことがある」に○をつけた方におたずねします。】

問 22-1 取り組んでいる活動はどんな分野ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 地域を元気にする活動 | 2. 子育てを支援する活動 |
| 3. 児童・青少年の健全育成の活動 | 4. 高齢者を支援する活動 |
| 5. 障がいのある人を支援する活動 | 6. 環境美化等の周辺環境保全活動 |
| 7. 健康づくりを支援する活動 | 8. 防犯や防災等地域の安全を守る活動 |
| 9. 文化・スポーツ等生涯学習活動 | 10. 観光やまちづくりに関する活動 |
| 11. その他 () | |

【問 22 で「3. 取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」「4. 取り組んだことはない」「5. 取り組むことができない」に○をつけた方におたずねします。】

問 22-2 取り組んでいない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 自治区(会)に入っていない | 2. 仕事や家事で忙しい |
| 3. 勤務の都合で機会がない | 4. 趣味や余暇活動を優先したい |
| 5. 育児・介護などのため忙しい | 6. 興味がない |
| 7. 家族の理解が得られない | 8. 体調がすぐれない、病気がち |
| 9. 知り合いがいない | 10. わずらわしい |
| 11. その他 () | |

問 23 あなたは、これからの地域での助けあいや支えあいの活動について、どのよう
にお考えですか。(○はいくつでも)

1. 困っているときはお互いさまだから、活発にしたい
2. 家族や親せきで何とかしたいと思うので、活動に参加したいとは思わない
3. 手助けしてもらうことや手助けすることに抵抗感がある
4. 普段つきあいがないので、考えにくい
5. 参加したいと思うが、困っている人にどの程度かかわればよいかわからない
6. 公的なサービスを充実すべき
7. その他 ()
8. 興味がない

問 24 あなたは、ボランティア活動についてどのように思いますか。(1つに○)

1. 地域において助けあいや支えあい、交流などを深めるためにも必要である
2. 気持ちはあるが忙しいので参加できない
3. 活動をしたいが内容や参加方法がわからない
4. そのような活動は本来行政が行うべきである
5. ボランティア活動はしたくない
6. その他 ()

問 25 あなたは今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種支援
活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(1つに○)

1. 積極的に取り組んでいきたい
2. できるだけ取り組んでいきたい
3. 機会があれば取り組んでもよい
4. あまり取り組みたくない
5. 取り組むことができない

【問 25 で「1. 積極的に取り組んでいきたい」「2. できるだけ取り組んでいき
たい」「3. 機会があれば取り組んでもよい」に○をつけた方におたずねします。】

問 25-1 今後してみたい活動はどんな分野ですか。(○はいくつでも)

1. 地域を元気にする活動
2. 子育てを支援する活動
3. 児童・青少年の健全育成の活動
4. 高齢者を支援する活動
5. 障がいのある人を支援する活動
6. 環境美化等の周辺環境保全活動
7. 健康づくりを支援する活動
8. 防犯や防災等地域の安全を守る活動
9. 文化・スポーツ等生涯学習活動
10. 観光やまちづくりに関する活動
11. その他 ()

問 26 あなたは、地域における支えあいについて理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 福祉の制度、サービス、理念や考え方などについて学ぶ機会
2. 介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりする機会
3. 手話や点字、介護方法などの技術を習得する機会
4. 住民が地域の福祉についての課題を気軽に話しあう機会
5. 学校教育等の中で、子どものうちから地域の福祉について学ぶ機会
6. お祭りや地域のイベントなど、地域住民が集まる場での啓発の機会
7. その他 ()
8. 特に必要なことはない

5 地域福祉にかかわる機関や団体等について

問 27 あなたは、岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画をご存知ですか。(1つに○)

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 知らない

問 28 あなたは、岬町社会福祉協議会(社協)をご存知ですか。(1つに○)

1. 知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 知らない

【問 28 で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。】

問 28-1 あなたは、岬町社会福祉協議会とどのようなかかわりがありますか。(○はいくつでも)

1. 社協会員として活動を支えている
2. 活動に参加したり、事業を利用したことがある(利用している)
3. 電話や訪問して相談したことがある
4. 知っているが、参加や利用したことはない
5. 広報「社協みさき」やホームページなどを見る程度で知っている

問 29 あなたは、地区福祉委員会をご存知ですか。(1つに○)

1. 知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、内容まで知らない
3. 活動に参加したり、事業を利用したことがある(利用している)
4. 名前も活動内容も知らない

問 30 あなたは、ご自身の地域の民生委員・児童委員のことや活動内容をご存知ですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 委員さんも活動内容も知っている |
| 2. 委員さんは知らないが、活動内容は知っている |
| 3. 委員さんは知っているが、活動内容は知らない |
| 4. 委員さんも活動内容も知らない |

6 健康や福祉サービスについて

問 31 あなたは、日頃の生活で悩みや不安を感じていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|--------------|
| 1. とても感じている | 2. 感じている | 3. どちらともいえない |
| 4. 感じていない | 5. 全く感じていない | |

【問 31 で「1. とても感じている」「2. 感じている」に○をつけた方におたずねします。】

問 31-1 あなたは、日頃の生活でどのようなことに悩みや不安を感じていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと | 2. 自分や家族の老後のこと |
| 3. 子どもの教育や将来のこと | 4. 乳幼児の育児に関すること |
| 5. 介護に関すること | 6. 収入など経済的なこと |
| 7. 地域での人間関係のこと | 8. 家族の人間関係のこと |
| 9. 職場での人間関係のこと | 10. 住宅のこと |
| 11. 地域の治安のこと | 12. 地震や火事、水害等の災害のこと |
| 13. 働くこと(就職・失業) | |
| 14. その他() | |

問 32 あなたは、悩みや不安があったとき、家族や親戚以外でだれ、あるいはどこに相談しますか(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 近所の人 | 2. 友人や知人 |
| 3. 自治区(会)の役員 | 4. 地区福祉委員会 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 6. 保育所・幼稚園・学校の先生など |
| 7. ケアマネジャー | 8. 岬町役場や保健センター |
| 9. 保健所 | 10. 病院や診療所等の医師・医療機関 |
| 11. 社会福祉協議会 | 12. 地域包括支援センター |
| 13. いきいきネット相談支援センター(コミュニティソーシャルワーカー) | |
| 14. 福祉サービスの事業所 | 15. 子育て支援センター |
| 16. 福祉なんでも相談 | 17. その他() |
| 18. 相談できる人がいない | 19. 相談しない |

問 33 あなたは、どのぐらいの頻度で食料品や日用品の買い物に出かけていますか。
(1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 1週間に数回	3. 1週間に1回
4. 1か月に数回	5. ほとんど、もしくは全く買い物に行かない	

問 34 あなたが、食料品や日用品の買い物の際に利用する手段等は何ですか。
(○はいくつでも)

1. 自分で自動車・バイクを運転	2. 徒歩もしくは自転車
3. コミュニティバス・電車を利用	4. タクシーを利用
5. 電動カートや車イスを利用	6. 家族や近所の人、知人の送迎
7. ヘルパーの買い物支援を利用	8. インターネットで宅配を利用
9. 店舗や生協等の宅配サービスを利用	
10. 身近な地域での有償買い物支援サービス(*)を利用	
11. 家族や近所の人、知人に依頼して買ってもらう	
12. その他 ()	

(*) 有償買い物支援サービス：身近な地域での支え合い・助け合い活動として、低額な料金で、スーパー等への送迎や付き添い、買い物代行などを行うサービスのこと（地域住民参加型による有償ボランティア活動）

問 35 あなたの世帯（家庭）で、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。①～⑤のそれぞれの項目について、番号を選んでください。
(1つに○)

	まったくない	何度かあった	頻繁にあった
①必要な食料が買えなかった	1	2	3
②必要な衣料が買えなかった	1	2	3
③電気・ガス・水道料金の滞納	1	2	3
④電話料金の滞納	1	2	3
⑤家賃・住宅ローンの滞納	1	2	3
⑥税金・社会保険の滞納	1	2	3
⑦医療費の滞納	1	2	3
⑧教育費の滞納	1	2	3

問 36 あなたは、福祉サービスについて、必要な情報を入手できているとお考えですか。(1つに○)

1. 十分入ってくる	2. 十分ではないが、まあ入ってくる
3. ほとんど入ってこない	4. 今のところ情報を得る必要がない

問 37 あなたが身近な地域の情報を得る機関や手段は何ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 広報「岬だより」 | 2. 岬町のホームページ |
| 3. 岬町役場や保健センター | 4. 広報「社協みさき」 |
| 5. 社会福祉協議会 | 6. 社会福祉協議会のホームページ |
| 7. 保健所 | 8. 地域包括支援センター |
| 9. 子育て支援センター | 10. 福祉サービスの事業所やその職員 |
| 11. ケアマネジャー | 12. 民生委員・児童委員 |
| 13. 病院や診療所等の医師・医療機関 | 14. 地区福祉委員会 |
| 15. 自治区（会）の回覧板 | 16. テレビやラジオ、新聞 |
| 17. インターネットやSNS（*） | 18. その他（ ） |
| 19. 特になし | |

(*) SNS：ソーシャルネットワーキングサービスの略で、コミュニティ型の会員制のサービスのこと。代表的なものとして「フェイスブック」「ツイッター」「ライン」等がある。

問 38 あなたが身近な地域で情報を得るために、どのようなことをより充実すべきだと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 自治区（会）の役員からの情報 | 2. 民生委員・児童委員からの情報 |
| 3. 地区福祉委員会からの情報 | 4. 町や社協の広報紙 |
| 5. 岬町のホームページ | 6. 社会福祉協議会のホームページ |
| 7. 回覧板やまちかどの掲示板 | 8. インターネットやSNS |
| 9. 岬町や社会福祉協議会、関係機関による地域での出張相談 | |
| 10. 岬町などのパンフレットや冊子 | 11. その他（ ） |

問 39 あなたは、地域における福祉を充実させていく上で、行政と地域住民との関係は、どのようなものが望ましいと思いますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 福祉を充実する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない |
| 2. 行政の手の届かない福祉課題については住民が協力していくべきである |
| 3. 福祉課題については、行政も住民も協力しあい、共に取り組むべきである |
| 4. 住民は福祉課題に積極的に取り組み、行政はその活動を支援すべきである |
| 5. その他（ ） |
| 6. わからない |

問 40 あなたは、地域での助けあいや支えあいの活動を活発にするために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 学校教育や生涯教育での福祉教育の充実
2. 福祉活動に携わる人やそのリーダーの養成
3. 地域で日頃から住民同士が相互に交流したりつながりを持てる機会づくり
4. プライバシーの尊重や人権に関する意識の啓発
5. 介護やボランティア活動の方法などに関する研修
6. 地域での活動の拠点となる場の整備
7. 身近な地域で特技・自由時間を活かしボランティア活動ができる体制づくり
8. 困っている人や助けあいの場、組織についての情報を得やすくする
9. 地域における福祉活動の意義と重要性についてのPR
10. 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実
11. 地域における福祉活動の活動費や運営費などの資金的な援助
12. 支援する人と支援を必要とする人をつなぐ場づくり
13. その他 ()
14. 支援が必要だとは思わない

問 41 あなたは、生涯を安心して暮らすために、どのような福祉施策を充実すべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉
2. 高齢者や障がいのある人などの入所施設
3. 子育てが安心してできる子育て支援
4. 健康の保持・増進のための健康づくりや介護予防
5. 子ども、高齢者、障がいのある人等すべての人が気軽にふれあい、憩える場
6. 地域でのボランティア活動やNPO活動に対する支援
7. 障がいのある人に対する理解や人権の尊重などの啓発・教育
8. 福祉サービス利用者保護のための権利擁護や苦情対応などの取り組み
9. 何でも相談できる体制や情報提供
10. 安心して快適に暮らせる住宅や道路環境
11. 消費者被害の防止などの防犯や災害時の避難などの防災対策
12. 高齢者や障がいのある人が地域で活動できる機会
13. 身近な買い物の場の確保、通院などの移動・外出支援
14. その他 ()
15. 特にない

7 判断能力が十分でなくなった時の支援について

問 42 成年後見制度（*）を知っていますか。（○は1つ）

1. 名前も制度の内容も知っている
2. 名前は聞いたことがあるが制度の内容までは知らない
3. 名前も制度の内容も知らない

（*）成年後見制度：認知症や知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が、財産管理や契約で不利益をこうむったり、本人の尊厳が損なわれたりすることがないように、主に法律面で支援する制度です。

【問 42 で「1. 名前も制度の内容も知っている」「2. 名前は聞いたことがあるが制度の内容までは知らない」に○をつけた方におうかがいします。】

問 42-1 今後、成年後見制度の促進・充実を図っていくために特に必要だと思うことはどれですか。（○は3つまで）

1. 成年後見制度や市民後見人に関する周知や広報活動の充実
2. 成年後見制度に関する相談体制の整備
3. 制度利用が必要な方の早期発見と対応の実施
4. 利用者と後見人のマッチング支援
5. 財産管理だけでなく、本人の状態や意思に応じた柔軟な対応ができる体制の構築
6. 金銭の横領などの不正防止の徹底
7. わからない
8. その他（ ）

8 災害への備えについて

問 43 あなたは、災害が発生した時にひとりで避難できますか。（1つに○）

1. ひとりで避難できる
2. ひとりでは避難できないが、家族が支援してくれる
3. ひとりでは避難できないが、近所の人や知人が支援してくれる
4. ひとりでは避難できないし、家族にも支援できる人がいない
5. ひとりでは避難できないし、支援してくれる人がだれもない
6. その他（ ）

問 44 あなたの家では、地震や災害などに対してどのような備えをしていますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 住宅の耐震診断または耐震補強 | 2. 家具等の転倒防止器具の取り付け |
| 3. 非常持ち出し品の準備 | 4. 食料や水などの備蓄 |
| 5. 避難場所や避難経路の確認 | |
| 6. ハザードマップ(*)の確認(津波・洪水・土砂災害) | |
| 7. 災害時の連絡方法などについての家族等との話し合い | |
| 8. 火災警報器の設置 | 9. 避難訓練や防災訓練への参加 |
| 10. 緊急情報キットの設置 | 11. その他() |
| 12. 特に準備していない | |

(*) ハザードマップ:「自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図の事です。

問 45 あなたの住む地域における地震や台風などの災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 災害対策についての学習機会 |
| 2. 家族や隣近所で話し合っておくなど自主的な災害への備え |
| 3. 普段から、隣近所の人とつきあいをする |
| 4. 地域の防災・避難訓練 |
| 5. 危険箇所の点検や、避難に助けが必要な人の把握 |
| 6. 自分から避難には支援が必要と手をあげる事 |
| 7. 役場や自治区(会)と住民の連携による避難支援体制 |
| 8. 災害ボランティアの育成・NPO活動の充実 |
| 9. 避難所・避難経路・備蓄等の適切な確保 |
| 10. 防災情報(*)の活用方法や認識を高めること(無線やテレビによる避難指示) |
| 11. その他() |
| 12. 特にない |

(*) 防災情報:自治体からの避難情報や土砂災害警戒情報、特別警報などのことです。

問 46 高齢者や障がいのある人など、災害発生時に気になる人が地域にいますか。
(1つに○)

- | | | |
|-------|--------|---------|
| 1. いる | 2. いない | 3. 知らない |
|-------|--------|---------|

問 47 避難時の声かけや日常の見守りなどの災害時要支援者（＊）の支援に関して、あなたの考えに最も近いものをお選びください。（1つに○）

1. 積極的に協力したい
2. 役割を決めてもらえれば、協力してもよい
3. 行政が中心となって支援すべき
4. 関わりたくない
5. 協力したいが（身体的な事情などで）できない

（＊）災害時要支援者：一般的に、災害から身を守るために安全な場所に避難する行動をとるのに支援を要する人のことをいいます。（高齢者、障がいのある人、外国人、乳幼児、妊婦など）

9 再犯防止の推進について

問 48 再犯防止（＊）の取り組みが進められていることをご存じですか。（1つに○）

1. 再犯防止の取り組みを知っているし、取り組みに協力している
2. 再犯防止の取り組みを知っているが、協力していない
3. 聞いたことはあるが、取り組み内容まで知らない
4. 初めて聞いた（知らなかった）

（＊）再犯防止：地域において犯罪や非行をした人が再び罪を犯さないよう指導・支援する為、関係団体や民間協力者等と連携した取り組み。例えば「社会を明るくする運動」など。

問 49 再犯防止の取り組みについてどのように思われますか（1つに○）

1. 取り組みは重要だと思うし、自らも取り組んでいきたい
2. 取り組みは重要だと思うし、協力はできる
3. 取り組みは重要だと思うが、取り組みに関わる気はない
4. 犯罪や非行をした人を支援する取り組みは、必要ないと思う

